

## 令和7年11月 「はこでみ親の会」

第35回はこでみ親の会を開催しました。

今回の親の会の中で印象的だったのは、保護者の努力は必ず報われる😊！+でも💦思いがけない方向に子どもは進んだけどね😅！というエピソードです。

はこでみ親の会にご参加の皆さんは、長年我が子の為にたゆまぬ努力を積み重ねてこられています。この日々の努力には本当に頭が下がります。

内容としては、

②常に我が子の味方である ②発達障がいについて学ぶ

②信頼できる相談先を見つける ②一方的だった考えや関わり方を改める

②我が子に効果的な関わり方を支援者に根気よく伝える

②我が子に合った居場所を探す ②我が子の進学先を探す

②我が子のイライラや不安、ストレスを受け止める

など、終わりが見通せない大きな不安の中でも我が子を信じ諦めずに前に進み続けています。

子どもが幼少期の頃は当然ですが、高学年や中学生になっても、ほとんどのご家庭が、保護者が先導して支援者に会いに行ったり新たな居場所を探したりするスケジュールを立てるので、子どもは親に連れられて行く形になります。

そうすると、結果的に保護者が準備した道を進むことになります。もちろん保護者が我が子の立場に立って考えた最善の道ですから親子共々安心できる道です。

しかーし！これである程度の見通しが立ったなと安心したのも束の間、

■「やっぱり前の方が良いな」■「俺、〇〇高校に行きたい」

■「実は〇〇がしたい」■今まで、一度も一人で学校に行った事がないのに突然一人で登校する

■文化祭の班長になった ■突然「働きたい」と言った

(※一見すると普通のエピソードですが、ここまで来る前にそれはそれは壮絶な親子での経験があります)

そんな我が子の思いを聞いて、

保護者としては、

②「えーちょっと待ってー」 ②「大丈夫ー？」

②「意外すぎるー」 ②「嘘でしょ😓」

②「思ってたのと逆ー！」 ②「今までは何だったのー」

という戸惑いのリアクションになります。

しかし、これは全て保護者が不安の中諦めずにたゆまぬ努力を続けてきたからこそ、子どもの中から出てきた言葉や変化です！

唐突な印象を持ちますが、一歩ずつ進めてきた結果です！すぐそばに絶対的な味方がいると、時間はかかりますが、安心して自分の素直な気持ちを表現できるようになります！今回は、そんな話を皆さんと一緒に楽しく共有しました！

